

第112号 令和8年2月

いばら 市議会だより

【目次】
12月定例会……………2P
委員会報告……………4P
一般質問……………6P
行政視察……………10P
編集後記等……………12P

発行／井原市議会
編集／井原市議会広聴広報委員会



E-mail:gikai@city.ibara.lg.jp
TEL 62-9535 FAX 62-9556



令和8年井原市二十歳のつどい

1 2 月 定 例 会

12月8日～12月23日
(16日間)

12月8日から23日にかけて、12月市議会定例会が開かれました。12月定例会における各議案の案件名と議決結果は次のとおりです。

議案番号	件 名	議決結果
予 算 議 案		
議案第82号	令和7年度井原市一般会計補正予算（第5号）	原案可決 (全会一致)
議案第83号	令和7年度井原市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決 (全会一致)
議案第84号	令和7年度井原市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決 (全会一致)
議案第85号	令和7年度井原市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決 (全会一致)
議案第86号	令和7年度井原市美星地区畑地かんがい給水事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決 (全会一致)
議案第87号	令和7年度井原市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決 (全会一致)
議案第88号	令和7年度井原市病院事業会計補正予算（第2号）	原案可決 (全会一致)
議案第89号	令和7年度井原市下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決 (全会一致)
予 算 議 案 (追 加 議 案)		
議案第110号	令和7年度井原市一般会計補正予算（第6号）	原案可決 (全会一致)
条 例 議 案		
議案第90号	井原市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第91号	井原市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第92号	井原市会計年度任用職員の給与、旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第93号	井原市印鑑条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第94号	井原市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第95号	井原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
議案第96号	井原市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について	原案可決 (全会一致)
議案第97号	井原市立高等学校の教育職員の給与等に関する特別措置に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決 (全会一致)
そ の 他		
議案第98号	岡山県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び岡山県市町村総合事務組合規約の変更について	原案可決 (全会一致)
議案第99号	井原市市民活動センターの指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議案第100号	井原市西部いこいの里の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議案第101号	井原市やすらぎセンターの指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議案第102号	井原市老人福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議案第103号	井原市勤労者野外活動施設、井原市グリーンスポーツ、子守唄の里わくわくドラゴンハウス、子守唄の里野外音楽ステージ及び経ヶ丸オートキャンプ場の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議案第104号	井原駅ビルの指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議案第105号	井原市美星中世歴史公園施設及び井原市美星吉備高原神楽民俗伝承館の指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議案第106号	井原市美星花木センターの指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議案第107号	井原市美星堆肥センターの指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議案第108号	井原市星の郷アクティブヴィラの指定管理者の指定について	原案可決 (全会一致)
議案第109号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同 意 (全会一致)
請 願・陳 情		
請願第 2号	選択的夫婦別姓制度の法制化を進める意見書の提出を求める請願	不 採 択 (賛成少数)

1 2月市議会定例会において審議された議案の概要について

・議案第82号 令和7年度井原市一般会計補正予算（第5号）

- ◎補正額 210,700千円
- ◎補正後の予算総額 27,385,700千円（前年同期比14.2%増）

■歳出の主なもの

各 費 目	<u>人件費（特別職、一般職、会計年度任用職員）</u>	36,298千円
総 務 費	<u>予約型乗合タクシー運行委託事業</u>	6,000千円
	<u>地域おこし協力隊事業</u>	1,016千円
	令和8年2月から西江原地区まちづくり協議会へ1名配置	
	<u>地区集会所等施設整備事業補助金</u>	1,026千円
	<u>戸籍情報システム改修業務委託（共同親権対応）</u>	3,500千円
	単独親権に加え共同親権の選択にも対応できるシステムに改修	
民 生 費	<u>障害者介護給付費・訓練等給付費</u>	115,000千円
	<u>障害児通所給付費</u>	19,500千円
農林水産業費	<u>井原市有害鳥獣被害防止対策協議会補助金</u>	545千円
	サル用GPS首輪一式1セットの購入補助	
	<u>環境保全型農業直接支援対策事業補助金</u>	365千円
	有機農業等に取り組む農業者団体2団体を助成	
土 木 費	<u>空き家相談センター開設事業</u>	682千円
	相談机、パソコン、事務用品、電話回線の配線工事など	

・議案第110号 令和7年度井原市一般会計補正予算（第6号）

- ◎補正額 605,000千円
- ◎補正後の予算総額 27,990,700千円（前年同期比15.2%増）

■歳出の主なもの

民 生 費	<u>物価高対応子育て応援手当支給事業</u>	95,000千円
	子育て世帯に、こども1人当たり2万円を支給	
商 工 費	<u>第4弾 元気いばら★暮らし応援事業</u>	510,000千円
	全世帯に、1人当たり1万3千円分の市内限定で使用可能な商品券を交付	

総務産業委員会

請願1件 議案9件 を審査

〈請願第2号 選択的夫婦別姓制度の法制化を進める意見書の提出を求める請願〉

Q. この件を国ではなく、本市議会に請願として提出された理由は

A. 国がなかなか審議を進めていないため、地方議会から国へ審議を求める意見書を提出してもらったことを目的に、本市議会へ請願した。

Q. 岡山県内、できれば井原市における統計のデータはあるか

A. 県内での調査や数字はない。

Q. 岡山東内、できれば井原市における統計のデータはあるか

A. 県内での調査や数字はない。

Q. 岡山東内、できれば井原市における統計のデータはあるか

A. 県内での調査や数字はない。

Q. 岡山東内、できれば井原市における統計のデータはあるか

A. 県内での調査や数字はない。

12月18日開催

へ報告を行うか

A. 必要の範囲内で、ホームページ等でお知らせしていく。



厚生文教委員会

議案9件 を審査

〈議案第101号井原市やすらぎセンターの指定管理者の指定について〉

Q. 指定期間が2年間になっていることについて

A. 通所介護のニーズ

や需要のバランスを見極める必要から短期間の指定になっている。

Q. 社会福祉協議会が指定管理者の理由について

A. 開設当時から管理を行っており、利用者の信頼も得ている。また、公募を行っても他に応募がなかったため。

Q. 学校のひとつの教室をシェアして利用する考えはないのか

A. 教育委員会とも協議していないので今のところは考えていない。

Q. 出部幼稚園の活用はできないのか

A. 過去には教育委員会と協議して検討もしたが、課題も多くあり断念した経緯があったため、今回移転の候補地としては検討していない。

Q. 今後の方針について

A. 早期に対応が必要と判定されたものについて、点検の指摘事項等内容を精査し、効率的で財政負担にも配慮した対応を心がけて修繕を実施していく。

12月17日開催

〈学校の施設老朽化の現状と対策について〉

Q. 今後の方針について

A. 早期に対応が必要と判定されたものについて、点検の指摘事項等内容を精査し、効率的で財政負担にも配慮した対応を心がけて修繕を実施していく。

Q. 熊本市で取り組まれている子どもの平日休み制度の導入について本市でも考えてみてはどうか

A. 様々な取組が必要だと思っているので、今後研究はしていく必要がある。

Q. 熊本市で取り組まれている子どもの平日休み制度の導入について本市でも考えてみてはどうか

A. 様々な取組が必要だと思っているので、今後研究はしていく必要がある。

Q. 熊本市で取り組まれている子どもの平日休み制度の導入について本市でも考えてみてはどうか

A. 様々な取組が必要だと思っているので、今後研究はしていく必要がある。



原案可決

原案可決

原案可決

原案可決

原案可決

予算決算委員会

12月19・23日開催

議案9件を審査

議案第82号 令和7年度井原市一般会計補正予算(第5号)

Q. 戸籍情報システム改修は法改正に伴うものであるから、国の補助等があるのでは

A. 補助金はない。

Q. 国に要望等しているのか

A. 法改正に伴うシステム改修については、戸籍事務協議会や市長会等を通じ、引き続き強く要望する。

Q. SE作業費の作業内容と、SEの単価は

A. 作業内容は、適応計画進捗管理、プログラムの適用、本番の立会い作業等である。単価は税抜き5万7

千500円である。

Q. 空家等管理活用支援法人の業務と成果は

A. 業務内容は、ワンストップ窓口として空き家に関する相談、相談会の開催、啓発資料の作成、啓発セミナーの開催、出前講座の実施である。成果は、相談69件、相談会4回開催22組、資料2回作成、セミナー1回開催約360人参加、出前講座2回開催となっている。

原案可決



議案第83号 令和7年度井原市国民健康保

除事業特別会計補正予算(第2号)

Q. システム改修の財源は国庫補助金とのことだが、債務負担行為(8年度)も含め国の補助か

A. 債務負担行為については、現時点で補助金交付の確定はない。国の動向を注視している。

Q. SE作業の7年度と8年度の内容と、SEの単価は

A. プロジェクト管理、影響調査、再カスタマイズ、資産運用など、7年度と8年度で共通の作業が多い。単価は税抜き8万円である。

Q. 戸籍情報システム改修に比べ、パッケージ費用に対してSE費用が大きい、カスタ

マイズ部分が多いからか

A. そのとおりである。

原案可決

議案第86号 令和7年度井原市美星地区畑地かんがい給水事業特別会計補正予算(第1号)

Q. 申告内容について税務署から修正の指摘があったのか

A. 消費税及び地方消費税の確定申告に、一部誤りがあると税務署の行政指導があった。修正申告し、追加納付を行う。

原案可決



議案第110号 令和7年度井原市一般会計補正予算(第6号)

Q. 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の使途に制限はあるのか

A. どんな事業にも際限なく使用できるのでなく、国は推奨事業メニューを提示している。

Q. この交付金には使用期限はあるのか

A. 使用期限は特に定められていないが、早急な事業実施に向け、年内に予算化するように国から通知がある。

Q. この交付金は、現金などを給付するためのシステムの構築に使えるのか

A. 推奨事業メニューにはない。

Q. 元気いばら暮らし

応援事業負担金約4億7千900万円のうち商工会議所への負担金はいくらか

A. 全額が商工会議所への負担金である。商品券の額面分、換金手数料、参加店募集費用などが含まれている。

Q. 商工会議所の事務は間に合うのか

A. 今まで3回の実績があることから事前に商工会議所に相談したところ、事務を受けていただけるとのことであった。

原案可決



一般質問

11名の議員が質問



【質問者】

- ◆妹尾文彦…………… 6P
- ◆佐藤 豊…………… 6P
- ◆沖久教人…………… 7P
- ◆柳本益裕…………… 7P
- ◆惣台己吉…………… 7P
- ◆西村慎次郎…………… 8P
- ◆木尾容子…………… 8P
- ◆松本周平…………… 8P
- ◆山田幾久枝…………… 9P
- ◆多賀紀代子…………… 9P
- ◆多賀信祥…………… 9P

12月定例会では、12月10日、11日、15日の3日間にわたり、11名の議員が質問に立ちました。その一部をご紹介します。

※掲載している一般質問は、紙面の都合により発言を要約し、質問した議員本人の原稿に基づいて掲載しています。

※井原市議会では、一般質問の模様をYouTubeで配信しており、各議員のページの二次元コード(QR)から動画を視聴できます。



無所属
妹尾 文彦

篠坂PAスマートインターチェンジの波及効果について



↑動画視聴はこちらから

問①スマートインターチェンジの波及効果特に既存の産業団地への影響はどうか。

答①物流ルートの選択肢が広がり、特に九州方面への利便性が向上することで、広域的な物流の効率化が見込まれる。既存の産業団地においても同様の効果が期待され、笠岡インターチェンジとの相乗効果により、産業活動の活性化につながると考える。

問②上稲木地区を新たな産業団地候補として検討する可能性はあるか。

答②スマートインターチェンジ開設により、物流道路として交通量の増加が見込まれるため、生活道路としての配慮をしつつ、関係機関と調整し検討していく。

問稲倉産業団地北側市道の拡張整備についての市の見解は。

答民間事業者のニーズを踏まえ、年1回の受付期限を増やすことについて検討を進めていく。



公明党
佐藤 豊

医療的ケア児支援に対する支援策の推進状況等について



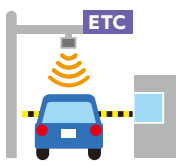
↑動画視聴はこちらから

問医療的ケア児支援に対する支援策の推進状況等について

答井原市障害福祉支援者養成事業補助金を令和6年度に創設し、資格取得に係わる研修費を補助し、事業所の負担を軽減することで障害福祉サービスに従事する人材の確保や従事者の資格、専門性の向上の支援を行っている。

問フレイル予防の取組状況について

答フレイル予防に対する意識や行動には個人差があり、積極的に取り組まれている方と関心が高まりにくい方との間に開きがあることは、本市としても課題として認識している。本市においては、いばら元氣シニアワールドリーを実施して、自宅で体操に取り組んでいただく中で抽選で景品が当たる仕組みとし、体操に取り組む意欲を高める工夫を通じて継続的な取組を促進しつつ、65歳を迎える高齢者の方々に対しては介護被保険者証の発送に合わせたフレイル予防に関する情報提供を進めていく。





子ども読書活動
推進計画について

無所属 沖久 教人



親子で本を大好きになる環境を！



問 学校園における子どもの読書活動推進について

答 幼稚園では、絵本などの読み聞かせを行ったり家庭内でも絵本を楽しむことができるように園の絵本を貸出している。市内全小・中学校に学校司書を配置することで図書の本の貸出しや本の紹介、学校図書館の環境整備などを行い、児童・生徒

の読書意欲の向上を図っている。

問 市立図書館における子どもの読書活動推進について

答 毎月子供図書便りを各小・中学校、幼稚園へ配布して、各図書館での行事や特集、新刊の紹介等を行っている。SNSを通じてイベント等の情報提供も行ってはいる。移動図書館車さくら号は、図書館の充実を図りながら約60か所訪問して貸出しを行っている。

問 読書手帳の取組について

答 読書手帳はセカンドブック事業の際に配布している。



本市の歳入額拡大
「稼ぐ力」について

無所属 柳本 益裕



問 インバウンドを含む来訪者数増加対策について伺う

答 令和8年度の早い段階で新たな観光地域づくり法人の設立を目指しており、その後地域DMO申請を行う予定としている。今後は、この地域DMOが中心となり、インバウンドを含む来訪者数の増加に向けて戦略的かつ一体的に取り組むこととしている。

問 ふるさと納税額拡大について伺う

答 寄附者のニーズに合った返礼品開発を行っている。またシティープロモーション事業による情報発信や寄附募集サイトの充実、返礼品の紹介ページのブラッシュアップ

を図っている。個人版・企業版ともに寄附の拡大に向け、積極的に取り組んでいく。

問 企業誘致等での固定資産税増加施策について伺う

答 民間事業用地開発促進奨励金制度や工業等振興条例奨励金制度を設けている。また、地域総合整備資金等の施策をインセンティブとして新たな企業の誘致や地元企業の事業拡大が進むことで財政基盤強化に寄与すると考えている。



井原図書館の建て替えについて

無所属 惣台 己吉



問 井原図書館建て替えについて

答 井原図書館については、令和7年8月に、一井原市県立井原高校南校地跡地活用検討会議より提出された提案書の中にもあるように、複合施設として南校地跡地への移転も含め、今後、利用者・関係者をはじめ有識者の方などにより、広くご意見をいただきながら、誰もが利用しやすい図書館となるよう検討を進めていく。



石川県立図書館

問 図書館と他施設との複合化の検討について

答 井原図書館については、令和7年8月に、一井原市県立井原高校南校地跡地活用検討会議より提出された提案書の内容も尊重しながら、本来の図書館の機能だけでなく、関連する施設との複合型図書館の検討を進めていきたい。
問 理想として目指す図書館について
答 本来の利用者に限らず、複合型図書館として多様な世代が利用できる、学びと文化、そして地域のにぎわいや交流の拠点としての図書館を目指していく。
問 想定する運営方法について
答 様々な運営方式のメリット・デメリット等を踏まえながら、どのような運営方式が本市に適しているか、検討していく。



デジタル化の推進状況について

無所属

西村 慎次郎



↑動画視聴はこちらから

問第6次情報化計画の主な取組と推進状況について

答本市では第6次情報化計画に基づき、市内全域への光ファイバー網整備やマイナンバーカード活用による市民サービスの向上、スマート農業支援、ICT教育環境の充実を進めている。電子自治体の形成では、申請書を職員が代行する「書かない窓口」や、来庁不要の「行かない窓口」の導入を進めており、各施策は順調に進展している。



書かない窓口

行かない窓口

問広域連携によるデジ

答高梁川流域圏で「data eye」サイトの共同運営やDX担当者間の情報交換を実施している。
問OSやソフトウェアなどのサポート終了に伴う対応について
答サポート終了によるOS・ソフトウェアの脆弱性を放置せず適切に対応している。
問デジタル化コストの妥当性評価への取組状況について
答単独随意契約の場合の金額の妥当性判断は、見積りに加え、過去の改修等の作業内容、他市町村での金額等を参考に、担当課及びDX推進課で総合的に金額の妥当性を評価している。



介護保険について

日本共産党

木尾 容子



↑動画視聴はこちらから

問介護を家族任せにせず、社会で支えていくという介護の社会化の期待を背負って介護保険がスタートして25年、介護保険料はどういう形で決められているか

答国が示した13段階の保険料段階と低所得者層への軽減措置に基づいて保険料額を設定している。
問訪問介護事業所について
答国や県において報酬や処遇改善に関する検討が行われており、県の動向を注視していきたい。
問要支援1・2のサービスについて
答要支援1または2と認定された方は、適切な支援を受けることで自立した生活を続けられる可能性がある。できるだけ多くの方が介護を必要とせず、住み慣れた地域で元気に暮らし続けられるよう支援している。



問施設の拡充、整備について

答地域のニーズや既存施設の稼働状況などを十分に勘案しつつ、慎重に検討していきたい。
問国の3大改善について
答制度の見直しが利用者や事業者に過度な負担を与えることがないよう、市長会などを通じて国や県に対して要望していきたい。
問要支援1または2と認定された方は、適切な支援を受けることで自立した生活を続けられる可能性がある。できるだけ多くの方が介護を必要とせず、住み慣れた地域で元気に暮らし続けられるよう支援している。



高市政権に対する市長の考え方について 他4件

無所属

松本 周平



↑動画視聴はこちらから

問大古市長による国への要望活動の強化を目標として

答国全体の活性化に加え、地方創生や地域経済の発展につながっていくことを期待している。
問高市政権に対する市長の考え方について。
答国全体の活性化に加え、地方創生や地域経済の発展につながっていくことを期待している。
問 SNS給食炎上問題予防を目標として
答給食の質の担保を確実にするために情報公開をする制度導入はどうか。
答今後研究する。
問全国的に見ても遅れている井原市職員の副業解禁について
答副業や兼業を可能とするためのガイドライ

問副市長への人口流入を目標として

答国の動向や他の自治体の事例なども参考にしながら研究する。
問移住メリット、可視化シミュレーターを導入してはどうか。
答慎重に研究する。
問市長に直接市民の声を届けられる機会づくりを目標として
問市長貸します制度(仮)を導入してはどうか。
答ポジティブに研究する。





保育事業の現状と
課題について 他1件

無所属 山田 幾久枝



↑動画視聴はこちらから

問 就学前保育の現状と次年度の見通しについて

答 保育園の入園を待つている方が12月時点で55名。次年度は必要な保育を実施できるように、施設整備や保育士確保に対する保育園への財政支援、保育士の随時募集や就職相談会への参加など受け入れ体制の整備に努める。

問 放課後児童健全育成事業の課題について

答 支援員の人材確保や処遇改善に取り組んでいる。宿題サポーターの質の向上も必要。昼食支援については、資金面での公的支援が難しい課題がある。

問 出部小学校区の放課後児童クラブの現状と課題について

答 出部地区は児童数が増加傾向であり、令和8年4月には小学校の余裕教室を利用してのクラブの移転が必要なる状況である。今後、小学校の在り方検討委員会での小学校区の変更に考慮して、中期的な視野で考えていく。



問 男女共同参画の現状と課題について

答 第4次いばら男女共同参画プランの目標達成に向けて、意識啓発、人権教育、家庭と仕事の両立支援、地域や職場における女性の意思決定の場への参画促進に注力する。



教員の働き方改革と
児童生徒の安全確保について

無所属 多賀 紀代子



↑動画視聴はこちらから

問 岡山県教育委員会が示す学校における働き方改革重点取組について

答 本市では、重点目標である月当たり時間外在校等時間45時間以内の目標はクリアしている。今後も管理職が教員の在校等時間を定期的に確認し、業務の見直しや声掛け、大規模行事における準備、運営の負担を軽減するなど各学校に依頼し、改善を図る。

問 本市独自の教員の働き方改革について

答 教師業務アシスタントを全小・中学校に配置。電子媒体の導入や小学校初任者には週1日分の授業をしない空き時間を設定するなど、教員の業務負担軽減に努めている。

問 教員のストレス軽減とメンタルヘルス対策について

答 年1回のストレスチェック、管理職との面談、スクールカウンセラーが教員の相談に対応できる体制により、教員が一人で悩みを抱え込まない職場環境づくりに取り組んでいきたい。

問 個人情報保護と安全確保について

答 井原市立学校情報セキュリティポリシーにて情報管理体制の強化を図っている。子ども達を犯罪や事故、トラブルから守るためにも家庭や地域の連携が重要であると考える。



幼稚園再編の進め方と
小学校再編との整合性について

無所属 多賀 信祥



↑動画視聴はこちらから

市民に理解される方針と説明を

問 幼稚園再編を小学校より先に進める影響と整合性は

答 就園率の急低下は喫緊課題。令和9年度運用を目指し再編する。

問 学区制廃止の狙いと説明方針は

答 幼稚園の学区について、法の義務はないが本市は慣例で設定。利便性と集団規模維持の両立を狙い廃止方向で検討。説明会で丁寧に説明し理解を得たい。

問 適正規模の具体人数は

答 複式にならない集団を基準に検討中。

問 中学校区での園数バランスの偏りについて

答 規模確保を第一に地理的状況や(保護者の)通勤の利便性も考慮し適正配置し、丁寧に説明する。

問 中学校区に1園を暫定的に残すなど段階再編の検討は

答 地域の意見を伺ったうえで経過措置も検討する必要があると認識。

問 小学校再編後の幼稚園児のスクールバス利用は

答 スクールバスは義務教育の通学保障の枠組みで運行を検討するものであり、現時点では幼稚園児送迎への運行は想定していない。



行政視察

総務産業委員会

令和7年10月7日～9日の3日間、岡山県真庭市（真庭高校久世校地跡地活用について）、鳥取県八頭町（隼Lab. について）及び広島県安芸高田市（道の駅「三矢の里あきたかた」について）において行政視察を行いました。

岡山県 真庭市

真庭高校久世校地跡地活用

■事業の目的

・「まちづくり」「第一次産業の振興」「学びや子育て」を柱とした拠点整備を目指している。

・産官学連携により、林業・木材・木造建築を中心とした教育・研究ゾーンを形成し、地域産業の振興につなげる。

・民間のノウハウを活用し、持続可能なビジネスモデルの構築を図る。

■市民・事業者の意向

・市民アンケートでは、市民や高校生の多くが「誰もが気軽に訪れることができる拠点」を求めている。
・力を入れてほしい分野として、「公共機



能」「教育・研究」「子育て」が高い割合を占めた。

・事業者ヒアリングでは、多くの事業者が参入に前向きな意向を示していた。

■コンセプト

・第2次真庭市総合計画や市民・事業者の意見を踏まえ、「真庭市の多彩な人材が交流し学び合うインクルーシブスクエア」を基本コンセプトとしている。

■導入機能・ゾーン構成

①林業・木材・木造建築の教育・研究拠点



②脱炭素・再生可能エネルギーの研究・情報発信の場

③子育て、教育、交流、研究などの複合拠点

④農業体験や6次産業化を通じた地域の魅力発信の場

⑤公立こども園の整備

⑥若者や移住者向け住宅の整備

■事業推進体制

・国の支援事業に採択され、公民連携による事業化に向けた調査・検討が進められている。
・産官学連携体制のもと、将来にわたって持続可能な運営を目指している。

鳥取県 八頭町

隼Lab.

■施設の概要

・八頭町の廃校舎を改修したコミュニティ複合施設で、シェアオフィス、コワーキングスペース、カフェ、ショップ、地域活動拠点、訪問看護ステーションなどを併設している。

・起業家やビジネスパーソン、地域住民、子育て世代、高齢者など、多様な人々が集い、日常的に交流・学び・働くことができる拠点となっている。

■整備の背景

・人口減少や学校統廃合により、地域コミュニティの希薄化や若者の都市流出、雇用機会の減少が課題となっていた。
・空き校舎を活用し、サテライトオフィスの



誘致や多様な働き方に対応する仕組みを整備することで、地域に新たな人の流れと仕事を生み出すことを目的としている。

■運営体制と効果

・町は施設を民間企業に無償貸与し、民間のノウハウを生かして運営。行政・住民・企業がそれぞれ役割を果たす体制を構築した。

・現在は多くの企業が入居し、創業支援や交流イベントを通じて地域活性化に貢献し、持続可能なまちづくりのモデルとして機能している。

広島県 安芸高田市

道の駅「三矢の里あきたかた」

■施設の概要

・広島県内20番目の道の駅として2020年3月に登録、同年6月にブランドオープン。コロナ禍の影響で4月に産直市を先行オープン。

・名称の「三矢」は戦国武将・毛利元就の「三矢の訓」に由来。敷地1万2千962㎡で産直、レストラン、多目的室、多目的広場、休憩・情報発信施設、キッズコーナー、多機能トイレなどを備える。

■施設運営と企業体制

・株式会社道の駅あきたかた（安芸高田市、ひろしま農協、広島駅弁当（株）出資）が指定管理で運営。安芸高田市長が代表取締役社

長を務める。

・産直棟「ベジパーク安芸高田」では地元農家の野菜やアイス「縄文あいす」を販売。レストラン棟「ファーマーズ・レストラン安芸高田」は地元野菜を使用し、高級食パン店も併設。休憩情報発信棟では地域情報や特産品を紹介・販売。

■日本一を目指すトイレと駐車場

・トイレ棟は「日本一のトイレをつくる」を理念に設計。女性用トイレ内のドアに野菜のことわざを表示するなど、楽しみながら利用できる工夫がある。

・駐車場は前進駐車・「ノーバック駐車場」として設計され、利用者の安全性と利便性に配慮している。

■防災・地域貢献機能

・災害時拠点として非常用電源（72時間）、受水槽（25㎡）、備蓄

飲料水、自家消費型蓄電池、災害対応自販機を整備。広い敷地は避難・救援・復旧支援拠点としても活用可能。

■効果と地域活性化

・レンコン広場を活用した周年祭、収穫祭、高校イベント、パブリックビューイングなどを開催。地域経済への寄与、観光促進、農産物販売額向上、雇用創出、市民の憩いの場形成、地域魅力向上を実現。

・市民・民間事業者・行政の協働により、「三矢の結束」が地域全体の活性化に貢献。



行政視察 議会運営委員会

議会基本条例制定から一定期間が経過し、今後の検証や改訂を見据えた体制整備が課題となっている中、定期的なPDCAサイクルによる検証と具体的な改善計画を継続している笠岡市議会において10月20日、行政視察を行いました。

岡山県 笠岡市

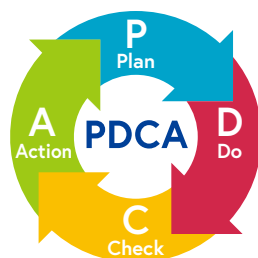
議会運営委員会では、議会基本条例の検証体制について学ぶため、笠岡市議会を訪問し行政視察を行いました。

議会基本条例は、議会が市民の声をどのように受け止め、市政に反映していくかを定めた重要なルールです。井原市議会では、これまで議会運営委員会が中心となり毎年検証を行ってきましたが、その結果が議会改革や具体的な改善として市民に分かりやすく伝わっているか、また、より効果的な検証の進め方ができているかについて課題意識を持っていました。

笠岡市議会では、特別委員会が2年ごとの中間検証と4年ごとの見直しを行い、議会の

取組を計画的に改善する仕組みが整えられていました。

今回の視察を踏まえ、市民の声をより確実に議会活動へ反映させるため、井原市議会としても、分かりやすく実効性のある検証体制の構築に向けて検討を進めていきます。



※行政視察の詳細については、井原市議会ホームページ「行政視察報告書」をご覧ください。

2月定例会の仮日程

2月26日(木)	開	会
	(市長の提案説明)	
3月 2日(月)	一 般 質 問	
3月 3日(火)	一 般 質 問	
3月 4日(水)	一 般 質 問	
3月 5日(木)	議 案 審 議	
3月 6日(金)	新年度予算審議	
3月 9日(月)	(厚生文教委員会)	
3月10日(火)	(総務産業委員会)	
3月11日(水)	(予算決算委員会)	
3月12日(木)	(予算決算委員会)	
3月17日(火)	議 案 審 議 ・ 閉 会	

日程については、2月19日(木)の議会運営委員会で協議した後、ホームページ等でお知らせします。

市議会を傍聴してみませんか

市議会の本会議及び委員会は一般に公開していますのでお気軽にお越しください。会議当日の8時30分から市役所5階の議会事務局で受付いたします。どなたでも傍聴できますので、希望される方は議会事務局で傍聴券の交付を受け(先着順)、入場してください。

傍聴者の定員

本会議場 38名 (うち8席は報道用)
 委員会室 10名
 全員協議会室 5名

～ご提案をお寄せ下さい～

井原市議会では、市民の皆さまのご意見・ご提案を幅広く集めて、今後の議会活動に役立てるため、市役所、芳井支所、美星支所、井原図書館に議会への提案箱を設置しています。皆さんのご意見・ご提案をお待ちしております。



～ 会議録の検索 ～



井原市議会
ホームページ



井原市議会のホームページでは、平成24年2月定例会分から常任委員会の会議録(要点筆記)を公開しています。また、平成9年3月定例会以降の本会議の会議録を検索することができます。

市のホームページから市議会ホームページへアクセスし、「会議録」をクリックしてください。

(井原市ホームページアドレス：

<http://www.city.ibara.okayama.jp>)

なお、この会議録につきましては、正式な会議録とは若干異なります。

編集後記

明けましておめでとござい
ます。

昨年春、多くの新人議員が加わり、それぞれ新たな視点で活動されています。

より身近に感じて頂ける議会だよりへ、力を合わせて作っていきたいと思います。

今年もよろしくお
願い致します。

(大滝文則)



広聴広報委員会

委員長	佐藤 豊
副委員長	沖久 教人
委員	大滝 文則
上野 安是	
荒木 謙二	
妹尾 文彦	
柳本 益裕	
多賀紀代子	
松本周平	